市営高木住宅整備は、平成30年度のローリング計画に載せるのか

調整が整えばローリング計画に載せていく

小川　貴夫
自民クラブ

高木住宅整備方針の変更に係る地域との調整について

問　高木住宅整備に関して、市は平成27年9月に計画の見直しを行うことを決め、同年11月12日に基本設計業務の契約を解除した。この２か月の間に地元との調整を行ったのか。

答　この間に地域の方々との調整は行っていない。

問　平成28年・29年度に地域の方々と行った調整の結果をどう捉えているのか。

答　理解を得られている状況ではない。引き続き調整を行っていく。

問　平成30年度に、市が主導して清田校区の方々と議論して、結論を出すべきでは。

答　なるべく早い時期に結論が出るように粘り強く調整していく。

問　高木住宅整備は、平成30年度に調整ができれば、ローリング計画に載せ、事業を進めるのか。

答　調整が整えばローリング計画に載せていく。

小中山地区の津波避難マウンドに関する検討経緯及び実施業務について

問　津波避難マウンド建設検討会議で出た意見は。

答　「避難先を分散したい」「ボーリング調査を行うべき」などの意見があった。

問　地質調査を簡易的なものにした理由は。

答　候補地の位置を決めるための調査であり、マウンド整備の工法を検討する調査ではない。

問　ボーリング調査の結果、砂れき層があると報告があったと思うが、どのように対応したのか。

答　調査の結果はそのような状況だったので、位置を比較して候補地を決めた。

小中山地区津波避難施設整備の今後の進め方は

地域の意見を聴いて検討し、平成30年度中に方向性を決めていきたい

森下　田嘉治
自民クラブ

南海トラフ地震における避難困難地域の防災対策について

問　小中山地区の堤防など社会基盤設備の耐震性は。

答　農林水産省所管の渥美海岸伊良湖地区海岸、福江港海岸立馬崎地区海岸は、L1地震動（※）に対する安全性を満たしている。

国土交通省所管の福江漁港海岸中山・小新田地区海岸は、山二新田東側において、L1地震動に対する安全性が保たれない箇所があるため順次、補強工事を実施していく。

樋門、水門は、必要に応じて平成29年度から補強工事に着手している。

地区内にある橋梁（全29橋）は、すべて耐震基準に基づいた耐震補強が完了し、定期点検でも不具合はなかった。市が管理している27橋は、平成31年度から2巡目の点検を行う。点検結果で不具合があれば、速やかに対策をとる。